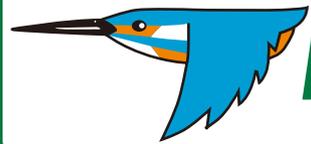


宇治市議会だより



第128号
平成25年3月15日
(2013年)
発行 宇治市議会
〒611-8501
京都府宇治市宇治琵琶33番地
電話 20-8747(直)
編集 広報委員会
ホームページアドレス: <http://www.city.uji.kyoto.jp/gikai/>

12月定例会

山本新市長に16人の議員が市政を問う

◆「宇治市自転車の安全な利用を促進する条例」
(委員会提案) を全会一致で可決



12月定例会の議場風景



議長に 久保田議員

12月27日に開かれた本会議において、欠員となっていた議長を選ぶ選挙が行われ、投票の結果、第32代議長に久保田幹彦議員(自民党)が選出されました。

平成24年12月定例会は、12月27日から1月29日までの34日間の会期で開かれました。今定例会では、市から提出された「平成23年度宇治市一般会計歳入歳出決算認定について」をはじめとする37議案が可決(認定・承認・同意)されました。また、「議案第1号平成24年度宇治市一般会計補正予算(第6号)」に対する付帯決議が可決、「京阪宇治バスの運行についての請願、地域活動支援センターⅢ型の安定運営を求めることについての請願」の2請願が採択されました。(8面に議決結果を掲載)

もくじ

- 2~6面 一般質問の項目一覧
一般質問
決算特別委員会報告
行政視察報告
- 7面 委員会の審査報告
会派構成紹介
議会運営委員会定数と委員会の変更
公平委員会委員の選任に同意
自治功労者の推薦を承認
- 8面 議決結果
提出された請願
議事内容(抜粋)
議会トリア

市議会議員 補欠選挙結果

平成24年12月16日に、市長選挙と同時に市議会補欠選挙は、次の1名が当選しました。

あきま 新治
秋月 新治
所属会派

宇治市議会宇治維新の会

また、常任委員会は、市民環境常任委員会に所属することとなりました。

12月定例会最終日に、「宇治市自転車の安全な利用を促進する条例」を全会一致で可決しました。本条例は、平成24年3月定例会において、全会一致で採択された「宇治市自転車安心安全条例(仮称)」制定についての請願を踏まえ、市、自転車利用者、関係事業者、市民等それぞれの責務と役割を明らかにし、生活や観光においてより安全な自転車の利用を促進することを目的として制定されたものです。

自転車条例を 制定(4月1日施行)

第2回「市民と議会のつどい」

～開かれた議会をめざして～

市民の皆さまに議会の活動を知っていただき、同時に貴重なご意見やご提言をいただくため、「市民と議会のつどい」を開催します。市民の皆さまの多数のご参加をお待ちしております。



昨年の市民と議会のつどいの様子(平成24年4月1日)

日時: 平成25年3月31日(日)

午後2時~4時(受付開始:午後1時30分)

場所: 宇治市生涯学習センター 1階 第1ホール

●主催: 宇治市議会

●内容: 「平成25年度予算の審査概要」

「宇治市自転車の安全な利用を促進する条例の概要説明」
※要約筆記、手話通訳を希望される方は3月22日(金)までに議会事務局までお申し出ください。

問い合わせ: 議会事務局 TEL:0774-20-8747(直通)

一般質問

平成24年12月定例会の一般質問は1月11日、15日、16日、17日の4日間にわたって行われ、16人の議員が質問を繰り広げました。紙面の都合により、その一部をお知らせします。



一般質問の項目一覧

- 一般質問とは、議員が市政全般にわたり、事務執行の状況・将来に対する方針等について、執行機関の見解を求めめることです。
- 浅井 厚徳(無会派)**
 - ①新市長として市政にのぞむ基本姿勢
 - ②市内企業
 - ③西宇治地域
 - ④金ヶ崎 秀明(自民)
 - ⑤市長の政治姿勢
 - ⑥教育制度改革
 - ⑦坂本 優子(共産)
 - ⑧市長の政治姿勢
 - ⑨木沢 浩子(共産)
 - ⑩市長の基本姿勢
 - 長野 恵津子(公明)**
 - ①市長の政治姿勢
 - ②J.R奈良線複線化
 - ③集会所再生プラン
 - ④交通問題
 - ⑤地域の課題
 - ⑥水谷 修(共産)
 - ⑦市長の施政方針
 - ⑧稲吉 道夫(公明)
 - ⑨防災・減災
 - ⑩西市長に問う
 - ⑪地域課題
 - ⑫西川 博司(民主)
 - ⑬教育の課題
 - ⑭福祉政策
 - ⑮市民に分かりやすく親しまれる市役所づくり
 - ⑯災害に強いまちづくり
 - 矢野 友次郎(民主)**
 - ①市長の政治姿勢
 - ②少子高齢化における地域の有り方
 - ③文化行政
 - ④渡辺 俊三(共産)
 - ⑤市長の政治姿勢
 - ⑥山崎 恭一(共産)
 - ⑦市長の政治姿勢
 - ⑧関谷 智子(公明)
 - ⑨新市長に問う
 - ⑩地域課題
 - ⑪西川 博司(民主)
 - ⑫教育の課題
 - ⑬福祉政策
 - ⑭市民に分かりやすく親しまれる市役所づくり
 - ⑮災害に強いまちづくり
 - 真田 敦史(民主)**
 - ①防災対策
 - ②教育・子育て
 - ③高齢者・障がい者(児)福祉
 - ④市民参画・協働
 - ⑤行財政改革
 - ⑥観光と歴史的風致維持向上
 - ⑦片岡 英治(宇治維新)
 - ⑧水害後の東宇治山林整備
 - ⑨小学校にクラブ活動を設置するについての進捗状況
 - ⑩学校屋上の太陽光発電屋根貸し
 - 木村 正孝(社会)**
 - ①新市長の基本姿勢
 - ②基本的政策
 - ③災害に強いまちづくり
 - ④浅見 健二(社会)

定例会一般質問の様子をインターネットで配信(録画中継)詳しくは会議記録をご覧ください。



録画中継や会議録は、市議会ホームページの「議会中継」、「会議録検索システム」でご覧いただけます。

無会派 浅井 厚徳



教育

(仮称)教育研究所の目的や趣旨についての考えは

答弁～一人の子ども成長という視点を基盤とした教育研究や支援を行う

市長は、(仮称)教育研究所の設置を強く主張しているが、本市に必要なものか、目的や趣旨についての考えは、市長 いじめや不登校、

た教育研究を機能させることにより、全国に先駆けた総合的な教育研究支援ができると考えている。

交通

福祉バス導入について市長の考えは

答弁～持続して運営ができる交通手段の仕組みについて広く検討する

市長が、課題となっている高齢者の交通手段としての福祉バスの導入についての検討をマニュアルに挙げていくことは評価しているが、具体的

にどのような考えか。健康福祉部理事 現在、取り組んでいるバス路線の存続だけではなく、持続して運営ができる交通手段の仕組みについて広く検討することが重要である。ただ単に市が整備するのではなく、地域が主体となり、それぞれの地域に合ったものを市へ提案いただく中で協働により形あるものにしていくことが望ましいと考え

今後の具体的な取り組みは。健康福祉部理事 市庁内連絡会議等を立ち上げ、協議していきたい。

公明党議員団 長野 恵津子



子育て支援医療についての見解は

答弁～拡充が図れないか、平成25年度予算編成の中で検討していきたい

選挙公約において、政策のトップに防災対策を挙げているが、市長が今、当面の最優先すべき課題をどのように考えているのか。

福祉

市長 災害に強い安全・安心の宇治づくり、いわゆる防災対策であると認識している。

確実に施策を推進し、災害に強いまちを実現してもらいたい。その上で最優先すべき点として子育て支援の医療についてさらなる拡充が必要であると考えるが、市長の見解は。

市長 持続可能な市政運営を前提として市政全体のバランスを見据え、限られた財源を配分し、医

教育

中学校昼食提供事業の今後の方向性は

答弁～平成25年度は全中学校で実施できるよう検討を進めている

現在、中学校昼食提供事業は2校で試行実施しているが、今後の方向性はどうか。教育部長 家庭の事情に

もう一步発展させて中学校給食として実施することについての見解は。教育部長 中学校昼食提供事業が全校で円滑に実施できた後の課題と考えており、現段階では中学校給食とする考えはない。

より弁当を持参できない生徒に対して栄養バランス等を考慮した弁当を提供できるように、昼食提供事業を試行実施している。当日8時までであれば、弁当の予約が可能であり、保護者からは好評の声をいただいている。平成25年度は全中学校で実施できるように検討を進めている。

社会議員団 木村 正孝



【市長】新しい宇治市のま

行政 新市長の市政運営 の基本理念を問う

答弁～「市民の力の結集で、新しい宇治市を」を理念に重責を担う

【市長】市長が選挙時に配布したマニフェストに「市民の力(参画・協働)の結集で新しい宇治市を」とある。これが市長の市政運営の基本理念と考え

【市長】新しい宇治市のまちづくりは行政の力だけでなく、大きなポテンシャルを持つ市民の皆様が必要であり、「市民の力の結集で、新しい宇治市を」を市政運営の基本理念として重責を担っていきたい。

行政 専門的な資格を持った職員を配置すべき

答弁～市民ニーズに合った組織になるよう検討していきたい

【市長】市民と市長の対話ミーティングの実施等、新しい宇治市をつくるための仕組みを検討したい。常勤や臨時職員が増加する傾向は続くと考え、正規職員・非常勤職員・臨時職員それぞれの分担を明確にして、機能分化や事務の向上を図ることが重要であると考える。また、専門職の活用も必要と考えるが、見解は。

行政 奈良線複線化・災害復旧等の総合的な今後の財政見通しは

答弁～将来に過度な負担を残さない範囲で財政運営を行いたい

【市長】JR複線化の市負担金も相当な事業費が予想されるが、まずは最優先課題である災害からの早期復旧に努め、JR複線化の対応や太閤堤跡地等の事業実施は、事業ス

交通 新宇治淀線の一部供用開始をしながら事業を進めては

答弁～府から平成25年度中の暫定供用を目指していると聞いている

【都市整備部長】関係自治会等と連携を図りながら宇治警察署に対して時間通り規制導入の早期実現を強く要望したい。

社会議員団 浅見 健二



【市長】JR複線化の市負担金も相当な事業費が予想されるが、まずは最優先課題である災害からの早期復旧に努め、JR複線化の対応や太閤堤跡地等の事業実施は、事業ス

ケジュール等を調整し、真に優先すべき事業を十分精査し、将来に過度な負担を残さない範囲で財政運営を行いたい。【都市整備部長】用地取得は9割弱完了し、25年度中に府道城陽宇治線の大久保交番前から市道新田城陽線までの約150メートルの暫定供用を目指していると聞いている。【大久保町98号線は通過車両で子どもの通学安全等が脅かされているが一向に改善されない。開通後はさらなる悪化が予想されるが、見解は。】

共産党議員団 水谷 修



行政 府と防災対策についての協議を行っているか

答弁～今後も組織として府と協議調整を行っていく

【市長】市長のマニフェストはだれに配付したのか。【市長】新聞記者と支援団体に示した。【市長】新聞記者と支援団体の6号に規定された口

行政 地方自治制度における二元代表制の下では、

【市長】住民が直接選挙で選ぶ形となっている。重要な事は直接住民に語りかけているか。

【建設部長】災害復旧に係る個別の事業の調整等について、総括的に市長が行っているものではない。今後も組織として府と協議調整を行っていく。【市長】商店街に資料館の展示機能の一部を移動させた展示スペースを設けた歴史資料の活用によって商店街の活性化と観光振興を図る。

産業 産業振興についてどのような手法で取り組むのか

答弁～助成や訪問相談を行い、商工会議所や国、府との連携を進める

【市長】企業立地促進助成制度を平成29年3月末まで延長したほか、事業所向けには展示会出展や人材育成事業への助成、商店街等の活性化の取り組みに対する助成なども行っており、今後は中小企業への訪問相談を進めて

まちづくり 今後の近鉄小倉駅周辺のまちづくりは

答弁～まちづくり研究会とともに将来ビジョンについて検討していく

【都市整備部長】西小倉地域においては、平成21年にまちづくり研究会が設置され、防災面をはじめ種々の課題についての議論が進められている。今後は、駅周辺のまちづくりについても研究会のテーマとして取り上げてもいい、市としても情報提供や運営を手伝うなどの支援をする中で、ともに将来ビジョンについて検討していく。

【市長】市長のマニフェストはだれに配付したのか。【市長】新聞記者と支援団体に示した。【市長】新聞記者と支援団体の6号に規定された口

【市長】市長のマニフェストはだれに配付したのか。【市長】新聞記者と支援団体に示した。【市長】新聞記者と支援団体の6号に規定された口

行政 建設部長 災害復旧に係る個別の事業の調整等について、総括的に市長が行っているものではない。

【市長】商店街に資料館の展示機能の一部を移動させた展示スペースを設けた歴史資料の活用によって商店街の活性化と観光振興を図る。

【市長】商店街に資料館の展示機能の一部を移動させた展示スペースを設けた歴史資料の活用によって商店街の活性化と観光振興を図る。

産業 市内企業の実態について、大手企業等の撤退、業績不振など景気がふるわない中、市内企業は9割を占める中小企業では、工場を突然閉鎖する企業

【市長】企業立地促進助成制度を平成29年3月末まで延長したほか、事業所向けには展示会出展や人材育成事業への助成、商店街等の活性化の取り組みに対する助成なども行っており、今後は中小企業への訪問相談を進めて

【市長】企業立地促進助成制度を平成29年3月末まで延長したほか、事業所向けには展示会出展や人材育成事業への助成、商店街等の活性化の取り組みに対する助成なども行っており、今後は中小企業への訪問相談を進めて

まちづくり 今後の近鉄小倉駅周辺のまちづくりは

答弁～まちづくり研究会とともに将来ビジョンについて検討していく

【都市整備部長】西小倉地域においては、平成21年にまちづくり研究会が設置され、防災面をはじめ種々の課題についての議論が進められている。今後は、駅周辺のまちづくりについても研究会のテーマとして取り上げてもいい、市としても情報提供や運営を手伝うなどの支援をする中で、ともに将来ビジョンについて検討していく。



自民党議員団 金ヶ崎 秀明



まれ、意見を言うだけの役割しか果たせていなかったと思うが、見解は。

は最重要課題と認識している。現在、市立小・中学校では土曜日を学期に1回程度授業日と位置づけ、授業参観等を実施している。23年度より夏季休業期間を短縮し、授業時間数を増加した。現段階では、現在進める取り組みを中心に対応したい。

教育

教育制度改革について本市の見解は

答弁～教育委員会が自立性、主体性を発揮することが重要

教育制度改革の必要性を強く感じる。時代が求める教育の実現を目指す。選挙で選ばれた首長が民意を反映し、方向性を判断すべきで、教育

教育委員会もこれを踏まえ、自立性や主体性の発揮が重要と考える。

子どもたちの学力低下が問題視されている。ゆとり教育導入前の土曜日授業を再開し、子どもたちの学力向上を目指すべきと考えるがどうか。



子どもたちの学力低下が問題視されている。ゆとり教育導入前の土曜日授業を再開し、子どもたちの学力向上を目指すべきと考えるがどうか。

共産党議員団 木沢 浩子



決定してもらおう。判断に戸惑い等のある地域には個別相談させていただく。

再生プランの撤回もしくは修正すべきでは。

地域

集会所再生プランを撤回もしくは修正すべきでは

答弁～議会での可決を踏まえ、年度末に向けて精一杯取り組んでいく

相談させていただく。管理者報酬なしでの集会所運営は、町内会の負担を増やすのでは。

新たに金銭の授受を伴う経済活動も利用可能になる一方、法令に違反する場合は利用できない。利用範囲等を町内会が判断することは可能か。

市長は敬老祝金を復活させる考えはないのか

答弁～個人給付的な事業は全般的に見直し、高齢者支援を制度で支えていく

市長は敬老祝金を復活させる考えはないか。個人給付的な事業は全般的に見直し、高齢者支援を制度で支えていく。

共産党議員団 坂本 優子



越金等の活用を図っている。事業の健全運営を確保するため、医療費が増加を続ける状況では、引き下げは困難である。

福祉

広域化で国保は良くなるのか。国保料の引き下げを

答弁～広域化に期待する。保険料の引き下げは困難

国民健康保険制度について、市は、府が進める広域化は将来を見据えた支援策だとしているが、国保の厳しい現状を解決するの、見解は。

国保会計は24年度も実質収支5億4千万円の大黒字であり、保険料を引き下げて市民の暮らしを守るべき。

子ども医療費を小学校卒業まで無料に

子ども医療費助成の拡充は子育て世帯からとりわけ要望が高い。本市は昨年9月にやっと就学前まで拡充された段階で府南部で一番遅れている。市長の見解は。

民主党議員団 矢野 友次郎



このまちを、しっかりと売り出していくためには地域ブランドを育成していく必要があると考えるが、市長の見解は。

行政

地域ブランドを育成する必要があるのでは

答弁～まちのブランド力を高めるなどの取り組みを検討していく

このまちには大変魅力があり、その魅力は自分自身でつくり上げていくものである。また、日本のみならず世界に誇れるまちであると考えている。

地域に財源と権限を移譲する仕組みを

地域社会を支えている自治会、町内会などの組織運営が高齢化により大変厳しい状況となつて

市民環境部長 全集会所の説明の後、順次進める。契約書の表現を精査し、管理運営の手法等を

市民環境部長 全集会所の説明の後、順次進める。契約書の表現を精査し、管理運営の手法等を

市民環境部長 全集会所の説明の後、順次進める。契約書の表現を精査し、管理運営の手法等を

市長は敬老祝金を復活させる考えはないのか

市長は敬老祝金を復活させる考えはないのか

市長は敬老祝金を復活させる考えはないのか

市長は敬老祝金を復活させる考えはないのか

市長は敬老祝金を復活させる考えはないのか

共産党議員団 渡辺 俊二



交通

バス路線存続を求め 願いを市長はどう受け 止めているのか

答弁～ 請願、陳情などの趣旨は重く受け止めている

問 バス路線の廃止方針に対する、市長の考えは。
市長 バス路線維持の可能性と合わせ、路線バス以外の手法も含め地域ごとの方向性を示した。

問 敬老乗車証の創設など、新しい交通政策は。
都市整備部長 具体的な手法について検討していきたい。

問 トイレの改修は小中合わせて6校改修されただけだ。市長任期中にやりきる年次計画を立てるべきだが、市長の考えは。
教育部長 整備内容や対象校について、毎年の予算編成の中で精査し具体化していく。

問 来年度から3年生以上を検証し、見直すべきところは見直していかなければならぬと認識しており、今後早急に見直しを図りたい。
市民環境部理事 昨年末に、不燃ごみ収集委託業者に対し、ごみの質や量の実態調査を行った。

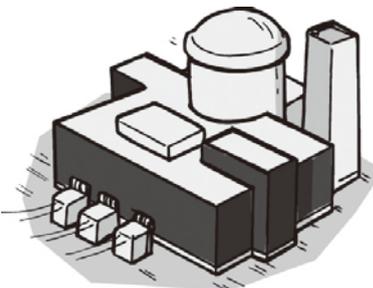
問 市長は災害に強いまちづくりが重点課題だと繰り返し語っているが、原発問題については全く触れていない。福島第一原発事故が明らかにした

問 市長は災害に強いまちづくりが重点課題だと繰り返し語っているが、原発問題については全く触れていない。福島第一原発事故が明らかにした

問 次々と立証されている事態に対する認識が大幅に違っている。昨夏の猛暑の中、稼働している原発が1基だけでも停電はおこらなかつた。少な

問 破砕帯調査で、敦賀原発では活断層の可能性が高い、大飯原発も活断層を否定できないなど次々と判明している。再稼働や敦賀原発の新増設について、反対を表明すべきではないか。
市長 国は再稼働や新設に当たり十分な説明を国民にすべきであり、今後、状況を注視し、必要に応じて全国市長会などとも連携していきたい。

問 破砕帯調査で、敦賀原発では活断層の可能性が高い、大飯原発も活断層を否定できないなど次々と判明している。再稼働や敦賀原発の新増設について、反対を表明すべきではないか。
市長 現政権の権限の範囲で国民的議論を行って判断されることである。市長として今答えるべきではないと考える。



共産党議員団 山崎 恭一



防災

原発は市民の脅威、 再稼働などに 反対を

答弁～ 安全が前提だが、エネルギー問題は国家戦略

問 市長は災害に強いまちづくりが重点課題だと繰り返し語っているが、原発問題については全く触れていない。福島第一原発事故が明らかにした

問 市長は災害に強いまちづくりが重点課題だと繰り返し語っているが、原発問題については全く触れていない。福島第一原発事故が明らかにした

問 次々と立証されている事態に対する認識が大幅に違っている。昨夏の猛暑の中、稼働している原発が1基だけでも停電はおこらなかつた。少な

問 破砕帯調査で、敦賀原発では活断層の可能性が高い、大飯原発も活断層を否定できないなど次々と判明している。再稼働や敦賀原発の新増設について、反対を表明すべきではないか。
市長 国は再稼働や新設に当たり十分な説明を国民にすべきであり、今後、状況を注視し、必要に応じて全国市長会などとも連携していきたい。

問 破砕帯調査で、敦賀原発では活断層の可能性が高い、大飯原発も活断層を否定できないなど次々と判明している。再稼働や敦賀原発の新増設について、反対を表明すべきではないか。
市長 現政権の権限の範囲で国民的議論を行って判断されることである。市長として今答えるべきではないと考える。

公明党議員団 関谷 智子



行政

新市長も第3次宇治 市職員定数管理計 画と同じ考えか

答弁～ 職員定数の適正管理に努めることは必須と考えている

問 第3次宇治市職員定数管理計画では、平成24年度から平成29年度までの間で純減30人を目標とするが、新市長の考えも同じか。

市長 計画的な職員定数の適正管理は今後も必須である。計画を執行する中で、行政のスリム化、徹底した効率化を推進できると考えている。

問 歳出の削減はもとより、無駄を省き効率化を図らねばならない。適切な人事給与制度のあり方を考える、年末年始加給金問題を避けて通れない。この件を市長はどう考えているのか。
市長 市民から理解を得られる内容であるのか等

問 年末年始の不燃ごみ特別収集について、大多数の地域で、燃えないごみが2週間分たまってしまふ。これまでどのように検討を

問 年末年始の不燃ごみ特別収集を実施する問題点は、市民環境部理事 仮に直営で実施する場合でも、これまでの収集実績から年末3日分の可燃ごみ量を2日で収集し切ることが非常に困難である等、多くの課題がある。
問 収集方法に工夫はできないのか。
市民環境部理事 課題を整理する中で拡充できるように、今後も引き続き検討していきたい。

問 市役所を訪れても市役所の縦割り各課にたらい回しされることなく、1カ所で相談に応じるワンストップサービスの実施が必要である。見解は、

問 水害を防ぐために河川・水路をどう整備していくのか。水害のメカニズムを防ぐための対策は、
建設部長 雨水流出抑制

問 道路も雨水を浸透する機能を兼ね備えた構造にすることが必要であり、道路にあふれた水をためて隣接の宅地への浸水を防ぐための機能を持たせることが必要では。
建設部長 道路整備や宅地開発等においても、引き続き下流への負担軽減に向けた雨水流出抑制策を積極的に実施したい。

環境

年末年始の不燃 ごみ特別収集に ついての考えは

答弁～ 拡充できるように検討していきたい

問 年末年始の不燃ごみ特別収集を実施する問題点は、市民環境部理事 仮に直営で実施する場合でも、これまでの収集実績から年末3日分の可燃ごみ量を2日で収集し切ることが非常に困難である等、多くの課題がある。
問 収集方法に工夫はできないのか。
市民環境部理事 課題を整理する中で拡充できるように、今後も引き続き検討していきたい。

行政

市役所窓口相談で ワンストップサービ ス実施の考えは

答弁～ 1つの窓口で各種制度の適用の可否を判断することは困難

問 市役所を訪れても市役所の縦割り各課にたらい回しされることなく、1カ所で相談に応じるワンストップサービスの実施が必要である。見解は、

問 市役所を訪れても市役所の縦割り各課にたらい回しされることなく、1カ所で相談に応じるワンストップサービスの実施が必要である。見解は、

問 水害を防ぐために河川・水路をどう整備していくのか。水害のメカニズムを防ぐための対策は、
建設部長 雨水流出抑制

問 道路も雨水を浸透する機能を兼ね備えた構造にすることが必要であり、道路にあふれた水をためて隣接の宅地への浸水を防ぐための機能を持たせることが必要では。
建設部長 道路整備や宅地開発等においても、引き続き下流への負担軽減に向けた雨水流出抑制策を積極的に実施したい。

防災

水害を防ぐため、 どんな対策を検討 しているのか

答弁～ 広域的な雨水排除計画に基づき事業を推進したい

問 市役所を訪れても市役所の縦割り各課にたらい回しされることなく、1カ所で相談に応じるワンストップサービスの実施が必要である。見解は、

問 市役所を訪れても市役所の縦割り各課にたらい回しされることなく、1カ所で相談に応じるワンストップサービスの実施が必要である。見解は、

問 水害を防ぐために河川・水路をどう整備していくのか。水害のメカニズムを防ぐための対策は、
建設部長 雨水流出抑制

問 道路も雨水を浸透する機能を兼ね備えた構造にすることが必要であり、道路にあふれた水をためて隣接の宅地への浸水を防ぐための機能を持たせることが必要では。
建設部長 道路整備や宅地開発等においても、引き続き下流への負担軽減に向けた雨水流出抑制策を積極的に実施したい。

民主党議員団 真田 敦史



などの奏功事例も生かせるよう、具体的な手法等について検討したい。

防災

地域へのヒアリングを実施し、自主防災活動等に生かすべき

答弁～具体的な手法等について検討したい

今年度から自主防災リーダー養成を行っていることだが、今回の京都府南部地域豪雨災害で、地域によってはリーダーによる情報の一元化

は、公助による対応には限界があり、地域の自主防災組織等による共助の活動は大変重要になってくる。今般の災害において活動された自主防災組織

教育

保幼小中の連携教育について、市の考えは
答弁～新たな発想、視点を持って研究実践をしていきたい

平成24年度から小中一貫教育が全面実施され、9年間の児童の発達段階に応じた系統的、継続的学習指導や生徒指導を行うとされ、中1ギャップ解消に向けた取り組みが

教育

なされていくが、今後はさらに就学前教育、小1プロブレムに対する取り組み強化が必要だ。生まれながら義務教育終了までの子どもの育ちに沿った取り組みについて、市の考えは。

今後、小中一貫及び保幼小連携に係る研修講座を実施するとともに、平成25年度当初から立ち上げるプロジェクトチームにより、一人の子どもの成長という視点を基盤とした総合的な教育研究や支援を具体化した新たな発想、視点を持って研究実践をしていきたい。

宇治維新の会 片岡 英治



ら府との連携を図り、早期に対策工事を実施されるよう強く要望していく。

防災

京都府南部地域豪雨での今後の対策は

答弁～府と連携を図り、早期に対策工事を実施されるよう要望していく

日清都カントリークラブ入口を含む一帯の山を会社が買い取ったときに、既に産業廃棄物が埋められていたとも聞いている。これが前年の豪雨

で非常に大きな災害をもたらし、下流の住民たちが迷惑をこうむった。この処理、対策は。

建設部長 道路管理者の府に確認したところ、府道や日清都カントリークラブ専用道路に流出・堆積した土砂は、山林の土地所有者の協力においておおむね撤去が完了し、処分も適正に行われたと聞いている。崩落箇所の対策は府において協議が行われているが、本市としても再発防止の観点か

教育

小学校のクラブ活動で、茶道等についての考えは

答弁～児童の興味関心をもとに種類や指導体制を考慮して実施すべき

市内全小学校でクラブ活動に類するものが実施されているが、どういふ種類のクラブ活動があるのか。そのねらいは。

教育部長 4年生以上の児童全員を対象としたクラブ活動は、学級教を上げるグループ数に分かれて行えるようスポーツ系と文科系クラブが設定されている。種類は、児童の希望、指導体制を考慮して設定し、前期と後期で全児童が2種類のクラブを経験できるように工夫している。

英語や茶道について、教育委員会の考えは。

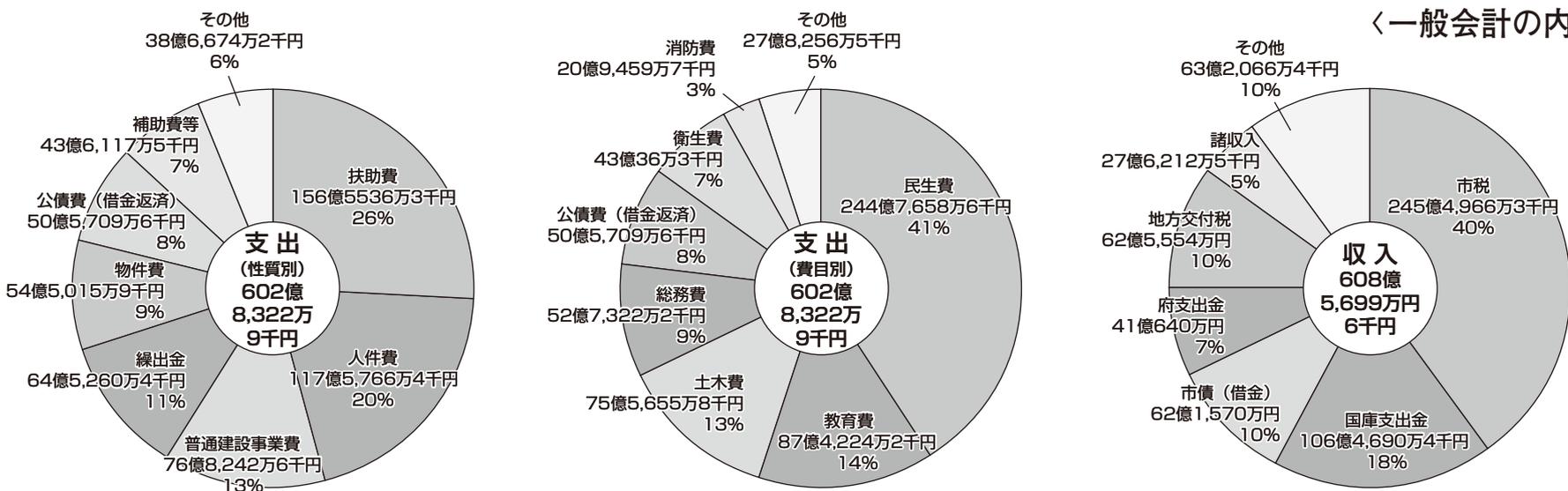
教育部長 宇治ならではの、あるいは社会の状況を踏まえたクラブ活動の意義は大きい。児童の興味関心をもとにクラブ活動の種類を考え、指導体制を考慮して実施すべきと考える。

平成23年度 決算審査から

決算特別委員会報告

平成23年度宇治市一般会計歳入歳出決算など、各会計決算の9議案は、平成24年9月定例会に提出されました。閉会中に決算特別委員会で審査され、12月定例会で9議案すべてを認定しました。(8面に議決結果掲載)

〈一般会計の内訳〉



※支出のグラフは、費目別、性質別の2種類を掲載しています。

行政視察 報告

文教福祉 常任委員会

●日程 10月22日・23日

●視察人員

委員7名、市関係部署2名、議会事務局2名 計11名

●視察先・視察項目

【千葉県鎌ヶ谷市】

①通学路安全対策推進行動計画

【東京都台東区】

①公立幼稚園における3年保育

②乳児保育、いつとき保育園等の保育事業

市民環境 常任委員会

●日程 11月13日・14日

●視察人員

委員7名、市関係部署2名、議会事務局2名 計11名

●視察先・視察項目

【福岡県北九州市】

①門司港レトロの観光振興

【福岡県糸島市】

①産地直売施設の取り組み

糸島管内の農業生産額が年々減少し、農業経営も厳しい中、JA糸島の組合員に元気を取り戻してもらうため産直市場の計画がされた。

12月定例会 委員会の審査報告

12月定例会中の総務常任委員会、市民環境常任委員会、建設水道常任委員会、文教福祉常任委員会が審査した内容について、その一部をお知らせします。

市民環境 今後10年間の観光振興計画(初案)を報告 〈平成25年2月1日からパブリックコメントを実施〉

●【審査項目】
●報告 宇治市観光計画(初案)について

市から次のとおり説明が行われた。

宇治市観光振興計画の基本理念・目標は、本市にしかない貴重な財産を市民全体で大切に守り、次代に引き継ぐとともに、多くの観光客に選ばれる観光都市・宇治のブランド力を高めることである。「宇治茶に染める観光まちづくり〜みんなで淹れるおもてなしの1服〜」をコンセプトに設定した。また、平成25年2月1日から3月4日までの間、



パブリックコメントを実施する。

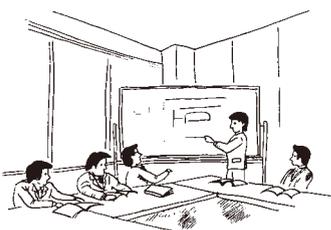
これに対し委員から、「お茶の振興等の世界戦略は」、「安全・快適に観光できる環境の整備とは」、「観光コンテンツの開発計画を持つべきでは」、「リピーターを増やすための考えは」、「計画に必要な財源は」、「目標数値設定が低いのでは」等の質疑が行われた。

総務 豪雨災害時の食中毒被害者との損害賠償の専決処分を報告 〈損害賠償金合計518万560円〉

●【審査項目】
●報告 食中毒事象に係る専決処分の報告について

市から次のとおり説明が行われた。

8月の豪雨災害時に食中毒被害を受けられた方のうち、示談の成立に至った76名分の専決処分報告である。平成24年12月6日に12名、13日に36名、18日に27名、25年1月15日に1名の方と示談締結をし、損害賠償金合計518万560円の専決処分を行った。なお、被害に遭われた106名のうち103名と示談が成立



していることが合わせて報告された。

これに対し委員から、「損害賠償額が大きい方の入院日数は」、「その入院は持病に影響して日数が延びたのか、食中毒だけの影響か」、「示談が成立していない残りの3名の状況は」、「3名は全員重症ではなかったのか」等の質疑が行われた。

建設水道 塔の島改修工事の進捗状況を報告 〈平成27年度完成を目途に河川整備が進められている〉

●【審査項目】
●報告 塔の島改修工事について

市から次のとおり説明が行われた。

天ヶ瀬ダム再開発に伴う1500tの流下能力を確保すること等を目的とした河川整備が、平成27年度完成を目途に進められている。平成24年度の主な工事としては、塔の川の右岸、左岸及び宇治川左岸の護岸工事、河床掘削、縮切堤の撤去、橋樑の橋脚の補強などで、景観や環境に配慮した護岸の形状については、塔の島地区景観構造検討会



にて検討されている旨報告された。

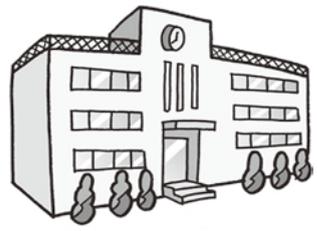
これに対し委員から、「今後、説明会を開催する予定はあるのか」、「今回の工事に伴って移植した桜の木は、工事が終わればもう1回移植し直すのか」、「今後の伐採や移植の計画はいつ明らかにするのか」、「塔の島の工事にかかる市の費用負担は」等の質疑が行われた。

文教福祉 御蔵山小学校の普通教室不足の解消策は 〈図工室を図書室に改修、図書室及び準備室を普通教室に改修する〉

●【審査項目】
●報告 宇治市立御蔵山小学校教室改修について

市から次のとおり報告があった。

御蔵山小学校の35人学級が進行した場合、平成25年から27年にわたり、普通教室不足が生じるため、図工室を図書室に、図書室及び準備室を普通教室に改修する。この工事により、3年間の普通教室不足が解消する一方、図工室が不足するので、少なくとも今後3年間は図工の授業実施について、学校で工夫する。本工事は主に内部改修工事で、



24年度末には工事を完了する予定である。

これに対し委員から、「御蔵山小学校は増改築を重ねているが、もともと学校が足りなかったのではないのか」、「なぜ図工室をなくすのか」、「補正予算は組まないのか」、「どのような図書室にするのか」等の質疑が行われた。

●公平委員
山中 信和
(再任、宇治市在住)

岡見 吉偉
(再任、宇治市在住)

●保護司
山口 勲

●宇治市消防団副団長
勝山 茂樹

●公平委員会委員の選任に同意

議会は、公平委員会委員の選任に関する議案に同意しました。

●自治功労者の推薦を承認

議会は、次の3名の自治功労者の推薦を承認しました。

●宇治市公平委員会委員
山中 信和

議会運営委員会定数と委員会の変更

新たに会派が結成されたことにより、議会運営委員会の定数が10人となり、秋月新治議員(宇治維新)が新たに委員となりました。

また、川越清議員(自民党)が、市民環境常任委員会から、文教福祉常任委員会へ所属を変更しました。

また、久保田幹彦議員(自民党)が議長に選出されたため、建設水道常任委員会副委員長を辞任、12月27日に副委員長の互選が行われ、鳥居進議員(公明党)が副委員長に選出されました。

更いたしました。

また、久保田幹彦議員(自民党)が議長に選出されたため、建設水道常任委員会副委員長を辞任、12月27日に副委員長の互選が行われ、鳥居進議員(公明党)が副委員長に選出されました。

会派名	人数	構成議員
日本共産党宇治市議員団	6	◎水谷 修 宮本 繁夫 ○山崎 恭一 坂本 優子 渡辺 俊三 木沢 浩子
民主党宇治市議員団	6	◎矢野友次郎 西川 博司 ○松峯 茂 田中美貴子 石田 正博 真田 敦史
自由民主党宇治市議員団	5	坂下 弘親 ◎川越 清 久保田幹彦 ○荻原 豊久 金ヶ崎秀明
公明党宇治市議員団	5	◎河上 悦章 ○関谷 智子 長野恵津子 鳥居 進 稲吉 道夫
社会議員団	3	浅見 健二 ◎池内 光宏 木村 正孝
宇治市議会宇治維新の会	2	◎片岡 英治 秋月 新治
無会派	1	浅井 厚徳

12月定例会 議決結果

※議案の後ろの〈 〉内は審査した委員会名、ないものは本会議直接審議。
 共産=日本共産党宇治市議会議員団(水谷、宮本、山崎、坂本、渡辺、木沢)
 民主=民主党宇治市議会議員団(矢野、西川、松峯、田中、石田、真田)
 自民=自由民主党宇治市議会議員団(坂下、川越、久保田、荻原、金ヶ崎)
 公明=公明党宇治市議会議員団(河上、関谷、長野、鳥居、稲吉)

社会=社会議員団(浅見、池内、木村)
 宇治維新=宇治市議会宇治維新の会(片岡、秋月)
 無党派=浅井

すべての会派が賛成した議案

議案	議 事 内 容 (注1)
議会委員会条例の一部改正〔委員会提案〕	自転車の安全な利用を促進する条例の制定〔委員会提案〕
平成23年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別委員会>	平成23年度墓地公園事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別委員会>
平成23年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別委員会>	平成23年度飲料水供給施設事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別委員会>
平成23年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別委員会>	専決処分の承認(=特別職の給与)<総務>
専決処分の承認(=教育長の給与)<総務>	専決処分の承認(=一般会計補正予算(第5号))
平成24年度一般会計補正予算(第6号)	平成24年度公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
消防団員等公務災害補償条例の一部改正<総務>	手数料条例の一部改正<市民環境>
道路法に基づく市道の構造の基準に関する条例の制定<建設水道>	道路法に基づく道路標識の寸法に関する条例の制定<建設水道>
移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定<建設水道>	都市下水路条例の一部改正<建設水道>
準用河川管理施設等構造条例の制定<建設水道>	市営住宅条例の一部改正<建設水道>
移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定<建設水道>	都市公園条例の一部改正<建設水道>
建築基準法等関係事務手数料条例の一部改正<建設水道>	公共下水道条例の一部改正<建設水道>
指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の制定<文教福祉>	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定<文教福祉>
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定<文教福祉>	土地改良事業(災害復旧)の施行<市民環境>
公共下水道井川排水機場建設工事委託(改築更新)に関する基本協定の一部を変更する協定の締結<建設水道>	近鉄大久保駅前自動車駐車場の管理にかかる指定管理者の指定<建設水道>
人事監の報酬及び費用弁償に関する条例の廃止<総務>	公平委員会委員の選任同意
自治功労者の推薦承認	
請願 京阪宇治バスの運行についての請願<建設水道>	地域活動支援センターⅢ型の安定運営を求める請願<文教福祉>
決議案 「議案第1号平成24年度宇治市一般会計補正予算(第6号)」に対する付帯決議	

会派で賛否が分かれた議案

○印 = 賛成, ×印 = 反対

議案	議 事 内 容 (注1)	議決結果	会 派 名						無党派
			共産	民主	自民	公明	社会	宇治維新	
議案	平成23年度一般会計歳入歳出決算認定<決算特別委員会>	可決	×	○	○	○	○	○	○
	平成23年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別委員会>	可決	×	○	○	○	×	○	○
	平成23年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別委員会>	可決	×	○	○	○	○	○	○
	平成23年度水道事業会計決算認定<決算特別委員会>	可決	×	○	○	○	×	○	○
	市営住宅条例の一部改正の修正案<建設水道>〔議員提案〕	否決	○	×	×	×	○	○	×
請願	教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願<文教福祉>	不採択	○	×	×	×	○	×	×
意見書案	原子力発電所に関する意見書	否決	○	×	×	×	○	○	○

(注1) 議事内容は省略・わかりやすく変更して記載している場合があります。

選挙結果一覧

投票 議長 久保田 幹彦(21票)、坂下 弘親(1票)、白票(6票)

提出された請願

9月定例会で継続審査となっていた請願1件と今定例会に提出された請願2件を所管の常任委員会が審査し、本会議最終日に次のとおり決定しました。

▼京阪宇治バスの運行についての請願

宇治市は、京阪宇治バス310系統を含む廃止

議事内容 (抜粋)

「平成24年度宇治市一般会計補正予算(第6号)」に対する付帯決議

一般会計補正予算(第6号)に対し、左記の付帯決議が全会一致で可決された。

平成24年8月13日・14日京都府南部地域豪雨災害の被災者は生活再建に向け日々努力されている。宇治市に対し、豪雨災害被災者への支援のための多くの寄付金が寄せられている。予算化されている。予算化されていない。残る寄付金についても早期に被災者に対する支援・見舞金等として、予算化、具体化し執行されたい。

予定路線について存続運行を計るようバス事業者に働きかけて下さい。(請願者)

宇治市身体障害者福祉協会 宇治市肢体障害者協会 会長 羽野 力 ほか

学校教育の充実を求める 会 代表 吉田 省二
 ◎賛成少数で不採択

▼教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

立派な学校が建設された一方、老朽化した危険な校舎等が放置されている。このように、教育を受ける環境の格差が広がっている状況を早急に改善して下さい。他3項目

特定非営利活動法人ほつととうがらし 代表理事 崔 忠植 ほか
 ◎全会一致で採択

議会トリビア

～議会ホームページ～



▲議会のホームページ

宇治市議会では、議会を広く市民の皆様にご覧いただくため、ホームページにおいてさまざまな情報を配信しています。配信している情報には、議員の紹介・定例会の日程・一般的な議会の説明などがあり、市民の皆様によりわかりやすい内容となっています。

また、平成22年8月から定例会一般質問の様子を録画で配信しており、各議員の質問やそれに対する市の考えなど、白熱した様子を気軽に自宅で観ることができます。ぜひ一度アクセスしてみてください。

(http://www.city.uji.kyoto.jp/gikai/)

128号担当 広報委員会委員 松峯 茂